

報告書 6: 2023 年 12 月

黒岩 麟平

11 月ごろまでは、暖かくなってみたり寒くなってみたり、と繰り返していましたが、今はボルチモアも安定して寒くなりました。ベランダで育てている水菜とバジルが弱り、バジルを屋内に入れたところ開花してくれました。あまりバジルは使わないので、このまま結実させようと思っています。水菜はアブラムシが大量発生しましたが、1 回目の収穫は一通り終わって 2 回目の生育の最中だったので、そのまま死んでもらっています。

1 研究

引き続き、タンパク質の相分離の仕組みやその物性の決まり方について研究しています。新規に手を出した技術、実験手法、そして共同研究から、とても示唆に富むデータを得ており、変わらず楽しく研究を続けています。今までの exploratory な研究から少しずつ hypothesis driven に変わりつつあり、色々な実験手法に手を出しているおかげ（せい？）で、身と時間が足りず、今、どの実験が最も有効/必要か、ということこれまで以上に考えるようになりました。従来の理解からは予想されないデータもあるので、それぞれを念入りに示そうとしている日々です。

数理モデリングの方は、実世界パラメーターや基本的なコンセプトモデルが明らかに不十分で、開発から遠のいていました。ですが、新しいデータたちのおかげで、価値のあるモデルを作れる見込みが出てきて、そろそろ再開したいな、という気持ちです。研究の道筋にそぐうかは今後の進捗しだいですが、なんとかそっち方面に行くように仕向けています。ポストドクやその後、将来の人生を考えた時、今のように主にウェットのラボに長時間いるのは好ましくないの、ドライのラボやリモートでも働けるような研究技術を身に付けたい、働き方を変えたいという魂胆です。

12 月上旬に BWC(Baltimore worm club) という、メリーランド周辺のセンチュウを扱う研究室が二週に一回集まって行く、セミナーで発表してきました。私の研究は现阶段ではセンチュウ自体は使っておらず、in vivo (生体内での) データがないため、反応が悪いかと危惧していましたが、意外と興味を引きました。BWC はセンチュウを使っていること以外は、幅広い分野のラボが集まるうえ、私の研究内容が他とはかなり違うので、分野外の人に対する発表のよい練習になりました。

2 ほか

来たる一月の初めに、DBO¹をようやく受ける予定です。私のプログラムは DBO を受ける時期に決まりはないかわり（？）、自分で試験官 5 人+予備 2 人をリクルートし、全員の都合が合う日時を決めなくてはならず、とても面倒でした。今となっては部分的に忘れつつある遺伝学、細胞生物学もろもろも試験のために学ばなくてはなりません、この試験が終わったら一週間ほど旅行するつもりなので、さっさと合格した上ですこしゆったりしたいものです。

信条的な理由から、スーパーで日々の買い物を続けていましたが、さすがに手に入りづらい日本食の食材が欲しくなり、最近、アジア食品の通販に手を出しました。通販とスーパーでどちらが環境的、モラル的に優れているかははっきりしない比較ですが、精神衛生のためと銘打って利用したところ、当然、QOL が一時的に上昇しました。QOL でいうと、近所のかわいいわんこちゃんと顔見知りになったので、時に会うと、生の犬で癒してもらっています。一方、ここ数ヶ月はバタバタしていて、コンサートに行っていないので、新年はより文化的な生活を取り戻そうと思います。

¹Doctoral board exam, a.k.a. qualifying exam. 平の Graduate/PhD student から PhD candidate になるための口頭試験